

◆ Part 3 相手の意見に対応する / Section 2 「反論のフォーマット」

1) 基本的な反論のフォーマット

反論を思いつくには、まず以下の5種類の反論の型を手がかりに考えてみてください：

反論の基本フォーマット

- ① Not true (「正しくありません」)
- ② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)
- ③ Not significant / important (「重要ではありません」)
- ④ Not relevant (関係ありません)
- ⑤ the opposite (逆です)

反論をするときには、まず相手が言ったことを要約し、何について反論をするのか明らかにしてください。「〇〇さんは～と言いましたが、それは違います。なぜなら～だからです」という形で反論をしましょう。

■ 反論の発表用フォーマット

(.....) said [.....]
.....]
However, it is [上の①～⑤のどれかを入れます] because [.....]
.....]

2) 相手の思い込みを指摘する

上のフォーマットで上手く対処できない場合は、下のフォーマットを使い反論を試みてください。特に、「Aが起きると次にBが起きる」という因果関係を前提して説明している場合、その前提を指摘することはとても有効な反論になります。

相手の議論の前提・思い込みを指摘する

However, it is not true because it is based on the assumption that ~.
「彼らの議論は、～という思い込みに基づいており、正しくありません」